

大学のディプロマ・ポリシー	作業療法学科のディプロマ・ポリシー
<p>1) 保健医療分野の専門性 保健医療の専門職として必要な専門知識と技術を身に付け、対象者の支援のために適切に活用することができる。</p> <p>2) 共生社会の理解 共生社会の概念を理解し、障がい者や高齢者など多様な生活者が共生できる社会の実現に意識を置きながら、保健医療の専門職として行動することができる。</p> <p>3) 課題解決力 保健医療の専門職が直面する様々な課題について、その背景やニーズを把握し、対象者の立場を理解し、課題解決に向け適切に行動することができる。</p> <p>4) 応用力 QOLの維持・向上や健康寿命の延伸に向け、保健医療の専門分野のみならず、関連する他分野の知識を応用し、視野を広げて業務に取り組むことができる。</p> <p>5) 組織における経営・マネジメント力 経営・マネジメントの素養を身に付け、保健医療に関する諸課題の改善に取り組むことができる。</p>	<p>1) 保健医療分野の専門性 作業療法に関わる専門的な知識や技術を修得し、身体的及び精神的なリハビリテーションを必要とする対象者に、日常生活・社会生活を実現するための支援ができる。</p> <p>2) 共生社会の理解 作業療法の専門職としての役割に加え、共生社会の理念を実践する作業療法士としての自覚を持ち、組織や地域社会に貢献することができる。</p> <p>3) 課題解決力 生活支援を行う医療専門職である作業療法士として、適切な評価を通して、対象者が実現したい生活行為等を把握し、日常生活・社会生活に必要な能力の維持・回復等に関する課題解決に取り組むことができる。</p> <p>4) 応用力 作業療法の専門性である生活支援分野等に隣接する他分野へ視野を広げ、対象者のQOL維持・向上や健康寿命の延伸に向けた作業療法の応用・展開に取り組むことができる。</p> <p>5) 組織における経営・マネジメント力 保健医療経営や作業療法に取り組む組織・人材マネジメント等に関する基礎知識を身に付け、保健医療経営やマネジメント等の課題に幅広く対応できる。</p>

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
敬心における共生論	R01-A101L1	●	基礎科目	1	必修	講義	①共生社会の概念を理解し、説明できる。 ②敬心学園の理念を理解し、説明できる。 ③共生社会の実務リーダーとしてのあるべき姿を理解し、説明できる。		●			
心理学	R01-A102L1	●	基礎科目	2	必修	講義	・心理学全体の概要を理解し、心理学の歴史における3つのパラダイム（精神分析・行動主義・ヒューマニスティック心理学）について説明できる。 ・心理学の各テーマについての概要を理解し、その中に出てきたキーワードや代表的な心理学実験について説明できる。 ・医療専門職の国家試験に頻出するテーマの重要事項について覚え、具体的に述べることができる。		●	●		
社会学	R01-A103L1		基礎科目	2	必修	講義	① 基本的な社会学的センスを身につけ、社会人としてのより深い視点を広げ深める。 ② 社会諸問題の解決へ向けた手がかりを見つけ、その実践的展望を図ることができる。 ③ 社会諸現象の解明へ向けた手がかりを見つけ、その具体的視野の深化を図ることができる。 ④ 授業の中でとりあげる社会問題と社会現象への、リハビリテーション専門職としての具体的かかわりを見出せる。			●		●
実務英会話	R01-A104P1		基礎科目	1	必修	実験・実習	①英語の保健医療福祉の専門用語を覚え、活用できる ②介護の場面で使われる英単語や関連表現・フレーズを活用できる ③コミュニケーションツールとして英語を捉え、恥ずかしがらずに活用できる姿勢を身につける			●		
観光学	R01-A205L2		基礎科目	2	選択	講義	①観光の定義と今なぜ観光・ツーリズムなのか自分の言葉で語ることができる ②観光と福祉の親和性について説明できる ③観光を地域活性化につなげる視点を持つことができる ④観光マーケティングの意味と必要性を説明できる				●	●
経営学	R01-A106L2		基礎科目	1	選択	講義	①企業における経営者の役割について理解し、説明できる ②経営に関する基礎的な理論を理解し、説明できる ③身近な企業に関し、経営上の特徴について、自らの言葉で説明できる			●		●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
音楽文化論	R01-A107L2		基礎科目	2	選択	講義	①音楽が社会の中で果たしてきた役割を説明できる。 ②音楽文化に関する基礎知識とリサーチ方法を身につけ、専門分野に応用できる。 ③自らの生活をより豊かなものとするために文化芸術に対して関心を持てるようになる。		●			
法学	R01-A108L2		基礎科目	2	選択	講義	①法が社会生活の中でどのような機能を有しているかを説明できる。 ②憲法、民法、刑法の基本的知識を説明できる。 ③学習した基本的知識を日常生活で生じる法律問題において適用できる。 ④医療・福祉部門で仕事をしていくうえで生じる法律問題について説明できる。			●		●
国際関係論	R01-A109L2		基礎科目	1	選択	講義	①国際秩序形成に向けた歴史的な営みについて理解する。 ②環境問題、地域紛争など、地球的規模の問題群について理解し、自分の考えを持ち、行動できる。 ③国際的な政治経済関係の中で、日本を取り巻く状況、日本の置かれた立場などを理解し、自分の考えを持ち、行動できる。			●		●
リーダーシップ論	R01-B101L2		基礎科目	1	選択	講義	①リーダーシップの二大機能について理解できている状態 ②自分の身近な組織で、リーダーシップを発揮できている状態 ③自分自身のリーダーシップの傾向が理解できている状態			●		●
チームワーク概論	R01-B102L1		基礎科目	1	必修	講義	1. チームワーク（多職種連携・多職種協業）の必要性・重要性を理解する。 2. チームの形成の過程を理解する。 3. 実際のチームの事例について知る。 4. 自身のチームに寄与する資質について理解する。			●		●
社会人基礎力	R01-B103S2		基礎科目	1	選択	演習	①多種多様な人々と協働する上で大切な傾聴力を高め、相手にわかりやすく伝えられる ②自ら考え問題点を抽出し、計画、行動化することで自発的の重要性を理解する ③将来の実務リーダーの役割を担う人材として、リーダーシップの本質を理解する ④セルフマネジメントを定着させることで、円滑なコミュニケーションができるようになる			●	●	●
コミュニケーション論	R01-B204L2		基礎科目	2	選択	講義	①リーダーシップの基本となるヒューマンスキルについて理解できる状態。 ②コミュニケーションとは何かを理解でき、実際に自分の身近な場所で実践できる状態。 ③自分自身のコミュニケーションと特徴は何かを理解できる状態。				●	●
スポーツボランティアⅠ	R01-C101L2		基礎科目	2	選択	講義	①ボランティアについて概要を理解する。 ②ボランティア活動の社会的役割を理解する。 ③スポーツボランティアの概要を理解する。 ④自身におけるボランティア活動の位置づけを考える。		●			●
スポーツボランティアⅡ	R01-C202P2		基礎科目	1	選択	実験・実習	①ボランティア活動前の準備および体験を通じた学びから、社会性とコミュニケーション能力を養う。 ②スポーツ分野におけるボランティア活動の目的・意義・役割を理解できる。 ③ボランティア活動を通じて、様々な立場・価値感・生き方があることを知り、共生社会について理解を深める。		●			●
地域ボランティア論	R01-C103L2		基礎科目	2	選択	講義	①ボランタリズム理念について理解し、説明することができる。 ②地域ボランティア、災害ボランティア、国際ボランティアについて説明することができる。 ③新しい公共という概念を理解し、ボランティア活動への関心を高める。 ④自分なりの視点で現在のボランティアの問題・課題について論じることができる。			●		●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
地域防災	R01-C104L2		基礎科目	2	選択	講義	①災害時のリハビリテーション専門職としての役割と機能について具体的に説明できる。 ②復興支援の課題について具体的に指摘し説明できる。 ③防災の先進自治体事例を通してメリット・デメリットを指摘しトータルな解決策を提案できる。 ④①②③を踏まえて、“地域防災”の視点、“防災福祉”の考え方、について具体的な提案ができる。		●		●	●
統計学序論	R01-D101L2		基礎科目	2	選択	講義	1) データを整理するために必要な数学の知識を理解できる。 2) データを分析するために必要な数学の知識を理解できる。 3) 統計を自学自習するのに必要な数学が理解できる。			●		●
統計学	R01-D102L1		基礎科目	2	必修	講義	1) データ解析の基礎を学び、データの管理が行える。 2) 得られたデータの要約を行うことができる。 3) データから母集団の推定・検定を行うことができる。 4) 作業療法を行う上で、統計学がどのように用いられているのか理解できる。			●		●
情報リテラシー	R01-D103L2		基礎科目	1	選択	講義	①コンピュータとインターネットの基本的な仕組みを理解し、自分の言葉で説明できる。 ②情報システムの基本的な構成と利用法、各種用語を正しく理解し説明できる。 ③情報システムの特性と背後にある仕組みの関係が説明できる。					
ICT概論	R01-D204L2		基礎科目	1	選択	講義	①クラウドサービス、IoT、AIの身近な応用事例とその特徴、仕組みを説明できる ②保健医療分野の現場におけるICTの活用見込みについて説明できる			●		●
健康科学	R01-D105L2		基礎科目	2	選択	講義	①エネルギー代謝を理解して、身体に対する運動の影響を理解する ②嗜好品も含めた、身体に対する嗜好品の影響を理解する ③身体に対する睡眠の影響を理解する ④生活習慣病に対しての、運動プログラムを立案できるようにする	●			●	
食と健康	R01-D106P2		基礎科目	1	選択	実験・実習	①食を通して、健康を維持・増進することを理解できる。 ②栄養のバランスを考えて料理を選択し、食品をバランスよく整えて献立を作成し、適切な食生活を実践することができる。 ③栄養・調理の知識を理解し、技術を身につけることができる。 ④グループで実技を行うことで、チームの一員として取り組む姿勢を養うことができる。				●	
生物学	R01-D107L1		基礎科目	2	必修	講義	①個々の生物のあらゆる構造や性質について、その特性や機構を分子レベルで説明できる。 ②生命の起源、生物の多様化、ヒトの起源と進化、そして進化のしくみを説明できる。 ③生物の集団、生態系のエネルギーの流れを理解し、生物と環境のかかわりを説明できる。 ④人間活動による環境への影響を説明できる。	●				
解剖学Ⅰ	R02-E101L1		職業専門科目	1	必修	講義	1. 解剖学Ⅰを通して、ヒトの尊厳と生命倫理の重要性を述べることができる。 2. 上肢帯と上肢の構造を説明できる。 3. 下肢帯と下肢の構造を説明できる。 4. 頭頸部と体幹の構造を説明できる。	●		●		
解剖学Ⅱ	R02-E102L1		職業専門科目	1	必修	講義	1. 解剖学Ⅱを通して、ヒトの尊厳と生命倫理の重要性を述べることができる。 2. 神経系の構造を説明できる。 3. 内臓器の構造を説明できる。 4. 人体の発生について説明できる。	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
解剖学実習	R02-E103P1		職業専門 科目	1	必修	実験・実習	1. 人体を構成する骨、関節、筋および中枢神経の三次元的構造を説明できる。 2. 骨格筋の起始停止する部位を説明できる。 3. 中枢神経系の構造と機能分布を説明できる。	●		●		
機能解剖学	R02-E204L1		職業専門 科目	1	必修	講義	骨と関節運動の仕組みを理解する。 靭帯・筋と関節運動のしくみを理解する。 病態と運動学との関連を理解する。	●		●		
生理学 I	R02-E105L1		職業専門 科目	1	必修	講義	①個体として生存するための個々臓器が果たす役割を理解し説明できる。 ②細胞膜、イオンチャンネル、担体、膜電位、シナプス、筋収縮等が分子レベルで説明できる。 ③心臓を含む循環器、呼吸器、消化器、泌尿器のそれぞれの機能と個体維持における役割を説明できる。 ④代謝の概念と運動負荷の定義が説明できる。	●		●		
生理学 II	R02-E106L1		職業専門 科目	1	必修	講義	①神経系を構成する部分（感覚器、末梢神経系、中枢神経系）を列挙することができる。 ②感覚器の違いとそれぞれがどのように活動電位を発生するかを説明できる。 ③中枢神経系内の神経結合が情報処理を行う機構を説明できる。 ④血液・免疫細胞の種類を列挙し、それぞれの役割を説明できる。	●		●		
生理学実習	R02-E207P1		職業専門 科目	1	必修	実験・実習	(1) 実習書を読み理解し、(2) データを採取し、(3) 結果を表、グラフ等にまとめ、(4) 先行研究・教科書の記載を読み理解し、(5) 実験結果を説明(考察)できるようになる。 年度末には、目的(背景)に始まって考察、引用文献一覧までの、科学的な形式を踏んだレポートが書けるようになる。	●		●		
運動学 I	R02-E108L1	●	職業専門 科目	1	必修	講義	1. 筋の起始、停止、作用、神経支配が説明できる。 2. 各関節における運動の特徴が説明できる。	●		●		
運動学 II	R02-E209L1	●	職業専門 科目	1	必修	講義	1. 各関節における運動の特徴が説明できる。 2. 正常と異常について運動学的な説明ができる。 3. 姿勢と動作、運動学習の特徴が説明できる。	●		●		
運動学実習	R02-E210P1		職業専門 科目	1	必修	実験・実習	1. 動作分析を行う上で重要な生体力学を理解する。 2. 上肢・下肢・体幹の運動器と動作を説明することができる。 3. 日常生活動作上で重要な動作を相に区分し、説明することができる。 4. 各種検査機器から得られるデータを分析し、考察を行うことができる。	●		●		
運動生理学	R02-E211L1		職業専門 科目	1	必修	講義	①運動に関係する機能解剖、運動及びトレーニングに伴う骨格筋系、呼吸循環器系、代謝系、神経系、内分泌系の生理応答を説明できる。 ②各種疾患、病態に応じた運動療法、トレーニング方法について説明できる。 ③加齢、不活動に伴う骨格筋系、呼吸循環器系、代謝系、神経系の生理応答を説明できる。	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
人間発達学	R02-E112L1		職業専門 科目	1	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> 各発達期の特徴を述べることができる。 運動発達、精神発達の関連性をのべることができる。 人間を発達の視点からとらえ、生涯発達の視点で展望できる。 人間を発達の視点でとらえることで、その後に学ぶ臨床的知識の理解を助けることができる。 	●		●		
臨床心理学	R02-F101L1		職業専門 科目	2	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理学では、患者のニーズを的確に把握し、患者から信頼される医療専門職になるために必要不可欠な対人援助理論、心理検査法、各種心理療法の理論と実際について説明できる。また、対人援助スキルについては模倣できるようになる。 			●		
精神医学	R02-F202L1		職業専門 科目	2	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> ①精神科的面接法の内容を説明し、それに従って面接を実施できる。 ②精神科症候学に基づき精神症状を測定でき、各種疾患を鑑別できる。 ③精神障害の特性を理解し配慮できる。 ④身体疾患を持つ方に対しメンタルヘルスクアの視点をもって接することができる。 	●		●		
神経内科学	R02-F203L1		職業専門 科目	2	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> ①神経疾患の理解の基礎となる神経系解剖と働きについて説明できる ②神経疾患の診断に必要な画像診断について、その働きと実際の画像診断について説明できる ③各種神経疾患について、病態、症状、診断法、治療法などについて説明できる ④神経疾患の診断、障害の評価などについての診療技術を習得できる 	●		●		
内科学	R02-F204L1		職業専門 科目	2	必修	講義	<p>内科疾患（循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、内分泌・代謝疾患、血液疾患、腎臓疾患、膠原病）について以下を目標にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 ②代表的な疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 ③代表的な疾患の治療と予後について概説できる。 	●		●		
救急救命の基礎	R02-F205P1		職業専門 科目	1	必修	実験・実習	<p>災害や事故の発生に伴う局所反応および呼吸・循環・代謝・その他の機能の評価・判定を理解して、迅速な処置を行い、救急搬送に至る流れを理解し、実行できる能力を獲得することを目標とする。</p>	●		●		
薬理学	R02-F306L1		職業専門 科目	1	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> ①薬剤の体内動態、頻用薬剤の薬理作用、副作用を説明できる。 ②代表的な神経・筋作用薬、循環器治療薬、呼吸器治療薬、抗がん薬などについて説明できる。 	●		●		
リハビリテーション医学	R02-G301L1		職業専門 科目	1	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーション医学の概要を理解する。 2. リハビリテーション医学に基づく診察・評価の基礎を学習する。 3. 主な障害の病態生理について理解する。 4. 主な障害の治療について理解する。 5. 主要な疾患に対するリハビリテーション医学的知識を学習する。 	●				
リハビリテーション概論	R02-G102L1		職業専門 科目	1	必修	講義	<p>リハビリテーション理念・定義・障害の捉え方を理解し、作業療法に生かせるリハビリテーションの基礎的知識を身に付ける。</p>	●	●	●	●	●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
公衆衛生学	R02-G303L1		職業専門 科目	1	必修	講義	①用語の定義を正確に述べるができる。 ②発生原因を列挙できる。 ③機序や病態を説明できる。 ④管理の実際について具体的に説明できる。 ⑤予防法を具体的に述べるができる。 ⑥関連する法規を列挙し、その内容を説明できる。	●		●		
地域福祉論	R02-G104L1		職業専門 科目	1	必修	講義	①「地域」「コミュニティ」とは何かについて、説明することができる。 ②地域福祉の歴史展開と現代との関係性について、説明することができる。 ③自分なりの視点で現在の地域福祉の課題について論じることができる。 ④ワークショップを通じてNPO法人への理解を深め、設立方法について説明することができる。	●	●	●	●	
地域共生のための連携活動 I	R02-G305L1		職業専門 科目	2	必修	講義	一般目標 (GIO) 地域共生、関連専門職の連携を理解し、作業療法士として何をすべきか説明ができる 行動目標 (SBO) ①地域包括ケアシステムの概要を理解し、説明できる ②地域における関連する各専門職の役割を説明できる ③当事者である本人とその家族を中心とした連携・協働について概要を理解し、説明できる ④リハビリテーション専門職に求められる知識・技能を説明できる	●	●	●	●	●
地域共生のための連携活動 II	R02-G406S1		職業専門 科目	1	必修	演習	①地域住民や地域で実践を行うさまざまな人々と連携協働するための基礎力を養成する。 ②地域での保健医療や福祉に関する現状やニーズの把握、課題抽出ができるようになる。 ③地域における保健医療や福祉分野に対して自らの専門性を活かした包括的支援体制について考察できる。	●	●	●	●	●
作業療法学概論	R02-H101L1	●	職業専門 科目	1	必修	講義	①リハビリテーション及び作業療法の歴史の要点を説明できる ②医学的リハビリテーションの流れと関係職種との役割の要点を説明できる ③作業療法の実践過程(流れ)の要点を説明できる ④作業療法における「作業」の意味と治療的活用の要点を説明できる ⑤作業療法に関連する法規と倫理の要点を説明できる	●	●	●	●	
作業療法学各論	R02-H202L1	●	職業専門 科目	1	必修	講義	①理論のそれぞれを簡単に説明することができる。 ②例示する事例にあった理論をあげて問題解決ができる。	●		●		
基礎作業学演習 I	R02-H103S1		職業専門 科目	1	必修	演習	1 活動の工程を説明できる。 2 活動に必要な道具を列挙し、その使用法を説明できる。 3 活動に必要な材料を列挙し、その使用法を説明できる。 4 各工程の留意事項を列挙できる。 5 課題に出された作品を完成させることができる。 6 材料・道具・作品の扱いに責任を持ち手入れ及び保管ができる。 7 工程を通して作業分析を行い治療的意味を理解する。 8 終了に際し作業の後始末と作品の管理について責任をもって行うことができる。 9 活動を通じて、制作、創造、自己を表現できる。 10 自分で課題を指導する時に必要な材料、道具等の購入先、購入方法を説明できる。	●		●		
基礎作業学演習 II	R02-H104S1		職業専門 科目	1	必修	演習	1 それぞれの作業活動が治療・援助としてどのように利用できるか理解する 2 対象者の疾患特性に合わせた作業活動の利用を学ぶ	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
作業療法管理学Ⅰ	R02-I101S1		職業専門科目	1	必修	演習	①作業療法が実施されている主な施設の種類等について、説明できる ②作業療法が実施されている主な環境や設備等について、説明できる ③作業療法が実施されている主な対象・目的・内容・方法等について、説明できる ④作業療法を実施する上で、留意すべき管理・運営的な事項等について、説明できる ⑤作業療法を実施する上で、関連する法規等について、その概略を説明できる	●		●		
作業療法管理学Ⅱ	R02-I402L1		職業専門科目	1	必修	講義	①作業療法の実践過程（流れ）と関連職種との関係について説明できる ②作業療法・作業療法士と関連する法規や制度等との関係について、その概略を説明できる ③作業療法に関連する診療報酬及び記録・報告の要点を説明できる ④記録と報告や職種間連携を踏まえ、作業療法・作業療法士に關係する倫理について説明できる ⑤作業療法教育を含め、作業療法部門の管理・運営について、その概略を説明できる	●		●		
作業療法評価学概論	R02-J101L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	①作業療法における「評価」の目的等の要点について説明できる ②作業療法とICFとの関連について説明できる ③作業療法における基本的な「評価」の種類と方法の概略について説明できる ④作業療法における対象領域別の「評価」の概略について説明できる ⑤作業療法における「評価」と「治療・関わり」との関連について説明できる	●		●		
身体機能作業療法評価学	R02-J202L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	①身体機能領域で用いる作業療法評価の概要を理解し、説明できる ②各種評価方法を実施できる	●		●		
精神機能作業療法評価学	R02-J203L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	1. 精神機能作業療法の評価過程の一連の流れを説明できる。 2. 精神機能作業療法における評価の項目を説明できる。 3. 各評価（情報収集・観察・面接）について、その目的、項目、方法、留意点を説明できる。 4. 各評価結果の統合と解釈を行い対象者の全体像を把握し、その説明ができる。 5. 各精神疾患とその回復過程に応じた作業療法評価の視点について説明できる。	●		●		
発達障害作業療法評価学	R02-J204L1		職業専門科目	1	必修	講義	・発達領域の対象者の状態像の特徴を説明できる。 ・対象者に必要な評価項目を挙げることができる。 ・評価内容を理解し、実施できる。 ・評価結果から、対象者をICFの観点からまとめ、問題点を列挙できる。	●		●		
高齢期作業療法評価学	R02-J205L1		職業専門科目	1	必修	講義	1. 老年期の疾患や心身機能について説明できる 2. 老年期の認知機能障害について説明できる 3. 老年期の認知機能障害の作業療法評価について列挙できる 4. 老年期の認知機能障害の評価を説明し、実施することができる	●		●		
高次脳機能作業療法評価学	R02-J206L1		職業専門科目	1	必修	講義	①高次脳機能障害の症状、責任病巣、発現機序について説明できる。 ②脳画像と症状との関連について説明できる。 ③高次脳機能障害の症状に対応する評価方法を列挙することができる。 ④神経心理学的検査および作業遂行評価の目的と意義、実施方法を説明することができる。 ⑤神経心理学的検査および作業遂行評価の結果を解釈できる。 ⑥代表的な神経心理学的検査について体験する。	●		●		
日常生活活動作業療法評価学	R02-J207L1		職業専門科目	1	必修	講義	①ADL評価表の特徴について理解する。 ②FIMとBarthel Indexの採点方法について理解する。	●		●	●	

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
身体機能作業療法治療学Ⅰ	R02-K301L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	①中枢神経系の構造・機能，脳血管障害の病態が理解できること ②脳血管障害・頭部外傷など中枢神経系疾患と作業療法評価の関連が説明できること ③脳血管障害者の代表的な作業療法評価・治療の方法を理解し実施できること ④頭部外傷の代表的な作業療法評価・治療の方法を理解し実施できること ⑤脳血管障害による心身機能・身体構造と活動・参加の制限の関連を説明できること	●		●		
身体機能作業療法治療学実習Ⅰ	R02-K302P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	①脳血管障害の概要を理解したうえで適切な評価項目を挙げ，円滑に実践できる ②評価結果の統合解釈，ICFで障害構造の把握，問題点列挙，目標設定などをしたうえで適切な作業療法プログラムを立案し，その意義や方法，注意点，問題点との対応などが説明できる ③実際に作業療法プログラムを実践できる	●		●		
身体機能作業療法治療学Ⅱ	R02-K303L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	①運動器の構造・機能，運動器疾患の病態が理解できること ②一般整形外科疾患(骨折等)と作業療法評価・治療の方法を理解し実施できること ③脊髄損傷の代表的な作業療法評価・治療の方法を理解し実施できること ④関節リウマチの代表的な作業療法評価・治療の方法を理解し実施できること ⑤切断の代表的な作業療法評価・治療の方法を理解し実施できること	●		●		
身体機能作業療法治療学実習Ⅱ	R02-K304P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	1. 運動器疾患および外傷に対する作業療法のとめ、統合と解釈、考察が立案できる。 2. 運動器疾患および外傷に対する作業療法の目標設定、治療立案ができる。 3. 運動器疾患および外傷に対する作業療法計画を実施することができる。 4. 運動器疾患および外傷に対する作業療法の発表および事例検討ができる。	●		●		
身体機能作業療法治療学Ⅲ	R02-K305L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	1. 内部障害の範囲と特徴、作業療法の対象を理解する。 2. 内部障害者に対する作業療法の流れ（評価から治療の過程など）を理解する。 3. 内部障害者に対するMTDLPについて理解する。 4. 喀痰吸引に関連した基本手技を理解する。	●		●		
身体機能作業療法治療学実習Ⅲ	R02-K306P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	1. 事例に応じた評価項目および評価方法を選択することができる 2. 模擬事例に対して、面接、観察、検査測定を実施し、実施上の留意点に気づくことができる 3. 評価結果をICFの概念を活用して整理し、対象者の全体像を把握し、利点と問題点を抽出することができる 4. 対象者のニーズや状態に応じた適切な作業療法目標を設定し、その根拠を述べる 5. 作業療法目標に応じた作業療法計画を立案することができる 6. 記録・報告ができる 7. 計画に基づいてプログラムを実施し、振り返りにより改善点を見出し、解決策を考えることができる	●		●		
精神機能作業療法治療学	R02-K307L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	1. 精神機能作業療法の治療構造・援助構造、その設定を説明できる。 2. 精神機能作業療法の治療的役割を説明できる。 3. 作業療法評価による統合と解釈、目標設定、作業療法治療計画立案、治療実施の一連の流れについて説明できる。 4. 疾患別、回復過程における作業療法治療の要点を説明できる。 5. 疾患別作業療法の事例について、その評価結果から目標を設定し、治療計画を立案できる。 6. 精神疾患を有する対象者が利用できる社会資源・制度について説明できる。	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5	
精神機能作業療法治療学実習	R02-K308P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	<ul style="list-style-type: none"> ・評価学で学んだ知識を模擬症例に用いることができ、その目的を説明することができる。 ・評価結果のデータから模擬症例の強みと問題点を焦点化することができる。 ・評価学、治療学で学んだ知識から、対象者への生活、思いを理解した上で治療、援助方法を想起し、列挙することができる。 ・上記の内容について資料を作成し、他者にその内容を適切に説明することができる。 	●		●			
発達障害作業療法治療学	R02-K309L1		職業専門科目	1	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害領域の主な疾患の作業療法の実際を学び、理解できる。 ・事例を通して発達段階や疾患の特徴を踏まえた評価および支援目標や内容を説明できる。 ・ICFの観点から治療目標をあげ、治療プログラムを立案できる。 	●		●			
発達障害作業療法治療学実習	R02-K310P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の場面の中で、発達障害を持つ子どもの観察と評価ができる。 ・実際の場面で、治療場を設定し、実践できる。 ・幅広い疾患を観察評価し治療の流れを理解し、ケースについて治療プログラムまで報告書を作成できる。 	●		●			
高齢期作業療法治療学	R02-K311L1		職業専門科目	1	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> ① 老年期の疾患や心身機能について説明できる ② 老年期の認知機能障害についての評価を理解し、説明できる ③ 老年期の認知機能障害に対する治療と治療計画の立案、具体的な援助方法を提案できる ④ 1～3までの内容を実践できる 	●	●	●	●		
高齢期作業療法治療学実習	R02-K312P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者を取り巻く現状と基礎疾患について理解する ② 認知症高齢者を理解し、多職種が行うケアについて理解する ③ 老年期における作業療法の役割と具体的なアプローチを理解する。 ④ 老年期における報酬も含めた作業療法士としての仕事をイメージできる 	●	●	●	●		
高次脳機能作業療法治療学	R02-K313L1		職業専門科目	1	必修	講義	<ul style="list-style-type: none"> ① 高次脳機能障害の治療原則及び治療理論を述べることができる。 ② 全般性注意障害の治療原則及び介入方法を述べることができる。 ③ 半側空間無視の治療原則及び介入方法を述べることができる。 ④ 失語症の治療原則及び介入方法を述べることができる。 ⑤ 記憶障害の治療原則及び介入方法を述べることができる。 ⑥ 行為の障害の治療原則及び介入方法を述べることができる。 ⑦ 遂行機能障害の治療原則及び介入方法を述べることができる。 ⑧ 社会的行動障害の治療原則及び介入方法を述べることができる。 ⑨ 脳血管疾患、外傷性脳損傷、認知症及び他の変性疾患に対する作業療法介入を述べることができる。 ⑩ 高次脳機能障害と自動車運転難さと評価・介入方法を述べることができる。 ⑪ 高次脳機能障害のあるひとの地域生活、職業生活の支援及び社会資源・制度の活用方法を述べることができる。 	●		●			
高次脳機能作業療法治療学実習	R02-K314P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	<ul style="list-style-type: none"> 1) 対象者のニーズや症状に応じた評価計画を立案することができる。 2) 症状に応じた神経心理学的検査を実施することができる。 3) 画像所見や神経心理学的検査、面接・観察の評価結果に基づいて解釈を述べるすることができる。 4) 対象者のニーズに応じた作業療法計画を立案することができる。 5) 治療原則や理論に基づいた介入方法の選択と模擬的实施ができる。 6) 作業療法評価・介入において、対象者の安全に配慮した行動を行うことができる。 7) 事例検討においてグループディスカッションに参加し、協調的な行動をとることができる。 	●		●			

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
日常生活活動 作業療法治療学	R02-K315L1		職業専門 科目	1	必修	講義	①動作観察や動作分析が方法について説明できる。 ②基本的な介助方法が説明できる。 ③各種疾患の病態や障害を理解し、適切な指導の方法を説明できる。	●	●	●	●	
日常生活活動 作業療法治療学 実習	R02-K316P1		職業専門 科目	1	必修	実験・実習	①ADL指導に必要な基本的動作について理解できる。 ②動作指導・運動学習の視点から適切な介助法を理解し、安全に実践することができる。 ③各疾患患者に対する介助方法を理解し、模倣することができる。 ④各疾患患者に対する動作指導を理解し、説明することができる。 ⑤車椅子や歩行補助具の特性を理解し、安全に操作することができる。	●	●	●	●	
日常生活活動 支援療法学	R02-K317L1		職業専門 科目	1	必修	講義	1. ICFの環境因子の活用からみた自立支援・介護負担軽減のための作業療法の治療・指導・援助を説明できる。 2. 福祉用具（義肢装具・自助具を含む）、住宅改修等の環境整備の関連した治療・指導・援助について説明できる。 ① 目的、② 方法・手順、③ 結果とその記録、④結果の解釈、他 3. 評価結果から作業療法の治療・指導・援助につなげるアセスメントと実際の治療・指導・援助について説明できる。	●	●	●	●	
日常生活活動 支援療法学 実習	R02-K318P1		職業専門 科目	1	必修	実験・実習	1. ICFの環境因子の活用からみた自立支援・介護負担軽減のための作業療法の評価から治療・指導・援助を、実技実習を通じて理解する。 2. 福祉用具（義肢装具・自助具を含む）、住宅改修等の環境整備に関連した作業療法の評価から治療・指導・援助を、実技実習を通じて理解する。 ① 目的、② 方法・手順、③ 結果とその記録、④結果の解釈、他 3. 評価結果から作業療法の治療・指導・援助につなげるアセスメントと実際について、作業療法の評価から治療・指導・援助を、実技実習を通じて理解する。	●	●	●	●	
健康寿命の延 伸	R02-K319S1		職業専門 科目	1	必修	演習	①健康および健康寿命の概念について多角的に説明することができる ②健康寿命の延伸のための課題について多角的に説明できる ③健康寿命の延伸のために作業療法士ができることを説明し、企画・実践することができる	●	●	●	●	●
在宅医療・介 護の推進	R02-K320S1		職業専門 科目	1	必修	演習	①在宅医療や介護についての現状と課題について説明することができる ②地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割について説明することができる ③在宅医療や介護予防・介護支援について作業療法士の役割について説明することができる	●	●	●	●	●
地域作業療法 学	R02-L301L1		職業専門 科目	1	必修	講義	①地域作業療法を実践する上で必要な知識・技術について理解することができる。 ②介護保険をはじめとする制度や社会資源について説明することができる。	●	●	●	●	●
就労支援論	R02-L302L1		職業専門 科目	1	必修	講義	1. 就労の基本的事項について理解する。 2. 障害者の就労の諸制度、過程について理解する。 3. 障害別の就労について、事例から理解する。	●		●		
生活環境学	R02-L303L1		職業専門 科目	1	必修	講義	1. 私たちを取り巻く「環境」の安全性、快適性等について、制度を含めて理解する。 2. 居住空間（住宅環境）の安全性・快適性等と住まう人との適合について、理解する。 3. 外出に関わる安全性・快適性等と対象者の適合について、理解する。	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
地域作業療法 学実習	R02-L404P1		職業専門 科目	1	必修	実験・実習	1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 地域における実習施設の役割を理解する 3. 実習指導者の指導の下で、支援業務の一部を観察または実践する 4. 実習施設において作業療法士として取組む課題と支援方法について考え、その一部を体験する 5. 記録報告を行う	●	●	●	●	●
体験実習 I	R02-M101P1		職業専門 科目	1	必修	臨地実務 実習	1. 作業療法の対象領域、時期、対象者、目的、内容を理解する。 2. 学生として相応しい身だしなみ、態度、節度ある行動をとることができる。 3. 作業療法を学ぶ意欲や主体的な学習態度を身につける。	●		●		
体験実習 II	R02-M102P1		職業専門 科目	1	必修	臨地実務 実習	1. 作業療法の対象領域、時期、対象者、目的、内容について理解する。 2. 見学した現場の作業療法について、リハビリテーションの中での位置づけと役割を理解する。 3. 作業療法学生としての倫理観や基本的態度を身につける。 4. 作業療法を学ぶ意欲や主体的な学習態度を身につける。	●		●		
評価実習 I	R02-M203P1		職業専門 科目	3	必修	臨地実務 実習	1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 対象者に応じた評価計画を立てることができる 3. 許容される範囲で評価を適切に実施し、対象者の全体像を把握できる 4. 対象者の全体像について、論理的に考察をすることができる 5. 実習内容について記録・報告をすることができる	●		●		
評価実習 II	R02-M204P1		職業専門 科目	2	必修	臨地実務 実習	1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 対象者に応じた評価計画を立てることができる 3. 許容される範囲で評価を適切に実施し、対象者の全体像を把握できる 4. 対象者の全体像について、論理的に考察をすることができる 5. 実習内容について記録・報告をすることができる	●		●		
総合実習 I	R02-M405P1		職業専門 科目	9	必修	臨地実務 実習	1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 対象者に応じた評価計画を立てることができる 3. 許容される範囲で評価を適切に実施し、対象者の全体像を把握できる 4. 対象者の全体像について、論理的に考察をすることができる 5. 対象者の作業療法計画を立案できる 6. 対象者へ作業療法の治療・指導・援助を実施することができる 7. 作業療法の成果を再評価にて確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる 8. 実習内容について記録・報告をすることができる 9. 管理・運営について理解することができる					
総合実習 II	R02-M406P1		職業専門 科目	9	必修	臨地実務 実習	1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 対象者に応じた評価計画を立てることができる 3. 許容される範囲で評価を適切に実施し、対象者の全体像を把握できる 4. 対象者の全体像について、論理的に考察をすることができる 5. 対象者の作業療法計画を立案できる 6. 対象者へ作業療法の治療・指導・援助を実施することができる 7. 作業療法の成果を再評価にて確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる 8. 実習内容について記録・報告をすることができる 9. 管理・運営について理解することができる	●	●	●	●	●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
地域実習	R02-M407P1		職業専門 科目	2	必修	臨地実務 実習	1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 地域における実習施設の役割を理解する 3. 実習指導者の指導の下で、支援業務の一部を観察または実践する 4. 実習施設において作業療法士として取組む課題と支援方法について考え、その一部を体験する 5. 記録報告を行う	●	●	●	●	●
共生社会の展 開と実践	R03-N301S1		展開科目	1	必修	演習	①作業療法士として共生福祉の理念を実践する意義を説明できる。 ②作業療法と「隣接他分野」の関連性について理解している。 ③「組織の経営・マネジメント」の知識・手法と「隣接他分野」で学修した知識を元に、作業療法士の役割を広げるアイデアやサービスを考えることができる。 ④多職種と協働するマインドを有している。		●		●	●
共生福祉論	R03-0101L1	●	展開科目	2	必修	講義	1、“共生”の意味を明確化する。 2、“共生福祉”“共生社会”のあり方を具体的に説明できる。 3、各支援専門職にとっての“共生福祉”の意義と意味を説明できる。 4、地域社会における“共生福祉”の展開と可能性の輪郭を説明できる。		●		●	
ユニバーサル ツーリズムと 外出支援 I	R03-0202L1	●	展開科目	2	必修	講義	①福祉の基礎知識を、「まち」に応用して考える視点を持つことができる。 ②高齢者や障がい者が「外出・旅行」する意義を説明できる。 ③高齢者や障がい者が主語になるのではなく、「誰もが同様に」という共生社会について説明できる。 ④共生社会の実現のために、何が必要かを自分の言葉で説明できる。		●		●	
ユニバーサル ツーリズムと 外出支援 II	R03-0303S1	●	展開科目	1	必修	演習	①共生社会の実現のために、具体的にどのような課題があるかに気づくことができる ②様々なバリアの解消方法を提案することができる ③ユニバーサルツーリズムを地域活性につなげる視点を持つことができる ④グループでコミュニケーションをとりながらゴールに到達することができる ⑤グループでプレゼンシートを作成し、分担してプレゼンテーションを行うことができる		●		●	
美容ケアによ るQOLの維持向 上 II	R03-0304P2		展開科目	1	選択	実験・実習	①対象者の状態を理解し、望ましい美容・整容等の種類を抽出することができる。 ②保健医療施設等での美容・整容等に必要用具や化粧品等の種類や使用法等について説明できる。 ③望まれる基礎的な美容技術を対象者に指導できる。 ④病院や施設等で化粧・整容等のサービスの進行ができる。		●		●	
音楽療法によ るQOLの維持向 上 I	R03-0205L2		展開科目	2	選択	講義	①セラピーのツールとしての音楽の有用性を知る ②セラピーのツールとしての音楽の特性を知る ③様々な現場での音楽の活用法を考えることができる		●		●	
音楽療法によ るQOLの維持向 上 II	R03-0306P2		展開科目	1	選択	実験・実習	①自由な発想で、自分も楽しみながら、活動を計画することができる。 ②歌や楽器、様々な音楽ソースを自分のスキルに応じて活用することができる。 ③対象者の立場に立ち、楽しく意欲的になれる活動を考えることができる。 ④音楽を心身機能の向上や社会的交流の促進のために活用することができる。 ⑤在宅の介護者にもできる音楽を用いた簡易な活動プログラムを考えることができる。		●		●	
身体障害への 支援システム 工学 I	R03-0207L2		展開科目	2	選択	講義	①障害特性の定義と代行手段の選択に基づく支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ②保健医療分野の現場における仮説検証に基づいた実証実験手法を説明できる。		●		●	●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
身体障害への支援システム工学Ⅱ	R03-0308S2		展開科目	1	選択	演習	①支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ②支援システムの試作品評価における実証実験手法と倫理審査の実施手順を説明できる。		●		●	●
手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅠ	R03-0209L2		展開科目	2	選択	講義	・聴覚障害に関する基礎知識を学び、理解する。 ・あいさつや自己紹介程度の手話をできるようにする。		●		●	
手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅡ	R03-0310P2		展開科目	1	選択	実験・実習	日常会話の手話ができることを目指し、療法実践の場で活用できる手話を習得する。		●		●	
実務リーダーのための経営戦略論	R03-P101L1	●	展開科目	2	必修	講義	①戦略と戦術の違いを具体的に説明できる ②ビジネスフレームワークを使って現状分析ができる ③マネジメントとリーダーシップの関係を説明できる ④自身の将来を構想し、その内容を発表できる			●	●	●
組織・人材マネジメントの理論と実践	R03-P102L1	●	展開科目	2	必修	講義	①将来自分が勤めたい会社について、組織と人材の面から分析出来る状態。 ②組織を一から創る時の考え方やしくみ、方法論が理解できる状態。 ③人が主体的に活動するためのしくみが理解でき、実際に実践するポイントが理解できる状態。			●	●	●
実践マーケティング戦略	R03-P203L1		展開科目	2	必修	講義	①マーケティング分析のフレームワークを用いて「市場」を分析できる。 ②顧客となる消費者のニーズを把握し、求められる商品・サービスを検討することができる。 ③マーケティングを実践的に活用し、既存の「市場」を成長ないしは変革させる提案ができる。 ④企業と消費者の利益を向上させるための戦略的な提案ができる。			●	●	●
保健医療経営Ⅰ	R03-P204L1		展開科目	2	必修	講義	①介護報酬(社会報酬)、診療報酬、地域福祉計画(社会福祉増進計画)、医療計画等の制度が理解できる。 ②介護経営、病院経営、社会福祉法人経営、在宅医療・介護サービス経営について知見を得る。 ③現状と将来課題を理解し、保健医療のあり方について一定の見解を持てるようになる。 ④現場において具体的なソリューションを考え、仲間と実践できるスキルを持つ。			●	●	●
保健医療経営Ⅱ	R03-P305L2		展開科目	1	選択	講義	①病院、介護、社会福祉法人、在宅サービスの経営の具体的事例を学び、経営課題と改善の方向性を考える ②ヒト、モノ、カネ、情報の視点から、医療福祉の現状を鑑み、課題の抽出と改善の方向性を考える ③職業人として、経営にどのように貢献するかを考える			●	●	●
総合事業開発	R03-P406P2		展開科目	1	選択	実験・実習	①自身でビジネスプラン(事業計画)を一通り立てられる。 ②企業での事業の成り立ちや進め方を理解できる。 ③チームメンバーとして、事業を計画する上での役割分担について理解する。 ④資料作成に必要な手法を身につける。					
作業療法研究基礎ゼミナールⅠ	R04-Z301S1		総合科目	1	必修	演習	1. 作業療法における研究の意義と目的を説明することができる 2. 研究疑問のタイプと研究様式の分類について説明することができる 3. 研究の流れを述べる 4. 研究の倫理的義務・管理的義務及び研究者の責任について説明することができる	●	●	●	●	●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
作業療法研究 基礎ゼミナールⅡ	R04-Z302S1		総合科目	1	必修	演習	1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを行うことができる 2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる 3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する 4. 研究計画の立案方法、分析方法の理解	●	●	●	●	●
作業療法研究 卒業ゼミナールⅠ	R04-Z403S1		総合科目	1	必修	演習	1. 研究テーマから研究命題を立てることができる 2. 研究計画を立てることができる 3. 研究計画に沿って研究を実施することができる 4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる	●	●	●	●	●
作業療法研究 卒業ゼミナールⅡ	R04-Z404S1		総合科目	1	必修	演習	1. 研究計画に沿って研究を実施することができる 2. 研究内容を論文にまとめることができる 3. 研究内容を学会発表形式で発表することができる 4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる 5. 科学的視点から、課題を解決することができる	●	●	●	●	●